

市制5周年を記念して
「京丹後市 市制5周年記念ステージ」開催
映像と舞台発表で京丹後市の歌の披露

11月21日

平成21年11月18日

京丹後市役所

豊かな自然と『丹後王国』とも称される多くの歴史的資産を誇る京丹後市。

京丹後市の誕生5周年を記念して、「京丹後市の歌」の制定に伴い、多数の市民の皆様に出演してもらい、京丹後市のさらなる発展飛翔をめざして「記念ステージ」を開催します。

ステージでは、京丹後市の四季折々の美しい風景や古代丹波国(たにはのくに)の歴史的な繁栄の遺産、丹後に伝えられた多彩な祭りや郷土芸能、丹後の古い写真を交え、そこに暮らす市民の表情を映像でつづります。そして京丹後市出身またはゆかりのあるアーティストに出演してもらい、多数の市民からなる合唱団などでつづるステージを実施します。

そして、このたび制定された『京丹後市の歌』（作詞 梅田俊作、作曲 藤原哲也）を京丹後市の児童合唱団と大人のコーラスグループ、そしてテノール歌手松本晃さんによる大合唱団が『丹後吹奏楽団』の演奏で歌い上げます。

最後は、式典列席者全員による京丹後市の歌を合唱してもらって終了する予定です。

「市制5周年記念ステージプログラム」

1 和太鼓演奏 飛龍天衆(ひりゅうたかしゅう)

曲名 『天翔』『時空を超えて』 演奏 約15分

京丹後市の和太鼓のグループ『飛龍天衆』の力強い太鼓でオープニング。

2 映像上映 『美しき京丹後市』 映像 約5分

四季折々の美しい京丹後市の映像を上映します。

映像上映 『古代丹波の繁栄』 映像 約5分

丹後国が成立するまで、『丹波国』(たにはのくに)といわれていた古代の丹後。この丹後が最も歴史的に繁栄をした時期である弥生時代から古墳時代にかけての文化財を中心に紹介します。巨大な前方後円墳や鏡、そして豪華な頭飾

りなどの遺物を映像で紹介します。

BGM 吉岡 妙子

それらの映像のバックミュージックには、吉岡妙子さんによるエレクトーンの演奏をおくります。

3 アナラポス、陶埴（とうけん）演奏 鈴木 昭男

『丹後に耳を澄まして……』 演奏 約15分

世界的なサウンドアーティスト 鈴木昭男さんの考案したエコー楽器『アナラポス』の幻想的な音楽を披露してもらいます。

そのあと弥生時代前期である2千数百年前の陶埴(とうけん)という土の笛の音色を楽しんでもらいます。

陶埴は、日本全国で約70個が発見されており、日本海側だけしか出土していません。京都府では京丹後市だけしか出土していません。

京丹後市では5個が発見されています。

『扇谷遺跡（おうぎだにいせき）』『途中ヶ丘遺跡(とちゅうがおかいせき)』『竹野遺跡（たかのいせき）』の3遺跡から5個出土しています。

鈴木昭男さんはこの演奏の後、11月23日から陶埴の出土した遺跡を訪ねて、その場所で自分の作った陶埴を演奏する自転車での旅に出かけます。その遺跡で聞ける音に耳を澄ます『さ・ね・と・り』というプロジェクトを企画しています。最後は下関市の綾羅木遺跡（あやらぎ）で終了する予定だと聞いています。

4 映像上映『遠き丹後の記憶』 映像 約5分

丹後の古い写真の数々を吉岡妙子さんエレクトーンの調べにのせて映像で見えます。

BGM 吉岡 妙子

5 テノール独唱 松本 晃 出演 約15分

『帰れソレントへ』作曲 D・クルティス

『初恋』作詞 石川啄木、作曲 越谷達之助

『白月』作詞 三木露風、作曲 本居長世

『落葉松』作詞 野上彰、作曲 小林秀雄

ピアノ伴奏 左成 洋子

網野町出身で、オペラやコンサート歌手として活躍されている、びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーでもある松本晃さんのテノールの歌声を聞いていただきます。

6 映像上映 『京丹後の心』 映像 約5分

京丹後市に伝わる様々な祭りとして太刀振、踊り、ダンジリ、三番叟(さんばそう)などの豊かな郷土芸能を映像により紹介します。

遺跡だけでなく祭りや郷土芸能の種類が多さにおいて、丹後はきわだっています。

映像上映 『京丹後 四季の詩』 映像 約5分

京丹後市で生きている市民を映像で紹介していきます。

BGM 吉岡 妙子

7 吹奏楽演奏及び『京丹後市の歌』合唱 約 20 分

交響詩『京丹後』～第1節「海、嵐、船」、第2節「伝説」、第3節「祭」、第4節「くらし」、第5節「未来へ（京丹後市の歌）」

作詞 梅田 俊作 作曲 藤原 哲也

演奏 丹後吹奏楽団、

合唱 木曜コーラス、コール・アカシア、コーラス弥栄野

大宮児童合唱団、網野グリーンクワイア、久美浜児童合唱団

記念ステージの舞台のフィナーレ。

最初に、丹後吹奏楽団による演奏を聞いていただきます。曲は、藤原哲也さん作曲の、その名も、交響詩「京丹後」。色彩豊かな吹奏楽が奏でる壮大な音楽絵巻です。第1節「海、嵐、船」、第2節「伝説」、第3節「祭」、第4節「くらし」。

フィナーレ「未来へ」の部分で、いよいよ京丹後市の歌を披露します。市民の合唱団の皆様に出演していただきます。出演いただくのは『木曜コーラス』、『コール・アカシア』、『コーラス弥栄野』の大人の合唱団。そして 児童合唱団として、『大宮児童合唱団』、『網野グリーンクワイア』、『久美浜児童合唱団』、松本晃さんの総勢120名による合唱団によるものです。

そして最後に客席の皆様全員にも一緒に京丹後市の歌を歌っていただきフィナーレとします。

『京丹後市の歌』 作詞・作曲者（敬称略）

作詞者 梅田俊作

1942年京丹後市網野町生まれ。画家・絵本作家。現在、徳島県美波町にアトリエを移し活動。自作の絵本、幼年童話を約50冊出版。『しらんぷり』で'97年日本絵本大賞受賞、『ばあちゃんのなつやすみ』で第3回絵本にっぽん賞受賞。2009年『あそび町うらしま通りさんかく地』出版。

作曲者 藤原哲也

京都市出身。徳島文理大学音楽学部卒業、同大学音楽専攻科修了。平成2年新規採用を機に丹後へ。現在、京丹後市立大宮中学校教諭。ミュージカルや生徒向けの作曲及び編曲も手がけている。平成18年京都府優秀教員表彰。地域の吹奏楽団・合唱団の指導者として活躍。峰山町在住。

市制5周年記念ステージ出演者プロフィール（敬称略）

鈴木昭男

1941年生まれ。1970年にエコー楽器「アナラポス」創作。網野町で『日向ぼっこの空間』（1988発表）。丹後町で『古代の丘のあそび』（'91年 '93年 '96年開催）。丹後の地に住み、弥生の土笛（陶埴）に出会う。

松本 晃

1965年網野町生まれ。京都市立芸術大学音楽部卒業、同大学院音楽研究科修了。'92年日伊声楽コンクールソプラノ部門入選。'96～'98年イタリアのクレモナに留学。オペラでは『魔笛』タミーノなど多数出演し、コンサート歌手としても活躍。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。

飛龍天衆（ひりゅうたかしゅう）

1996年2月結成。以来、多くの舞台で力強い演奏で好評を博す。羽衣伝説をもとにしたオリジナル曲『時空を超えて』『天翔』やテーマ曲『飛龍21』などがある。

丹後吹奏楽団

1988年結成。丹後では初の社会人バンドとして式典、イベントや定期演奏会、ポップスコンサートを中心に活動。現在団員55名。

コーラスグループ

京丹後市で、活躍するコーラスグループから3グループ「木曜コーラス」、「コール・アカシア」、「コーラス弥栄野」。

児童合唱団

京丹後市で活躍する児童合唱団。『峰山少年少女合唱団』、『大宮児童合唱団』、『網野グリーンクワイア』、『久美浜児童合唱団』（総団員128名）。

吉岡 妙子

1981年峰山町生まれ。音楽教室講師。バンドを組み活動。